



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月11日

上場会社名 第一工業製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4461 URL <http://www.dks-web.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 大柳 雅利

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員財務本部長 (氏名) 浦山 勇

TEL 075-323-5955

四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	26,493	△1.3	738	△19.7	683	2.8	391	47.1
25年3月期第2四半期	26,848	△9.7	920	△30.5	665	△38.6	266	△23.8

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 730百万円 (395.8%) 25年3月期第2四半期 147百万円 (△75.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	9.18	9.17
25年3月期第2四半期	6.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	52,230	18,601	33.7	412.18
25年3月期	55,416	18,200	31.1	404.39

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 17,588百万円 25年3月期 17,256百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,500	7.1	2,100	19.7	1,900	23.0	1,000	25.5	23.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	43,421,609 株	25年3月期	43,421,609 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	749,163 株	25年3月期	749,246 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	42,672,145 株	25年3月期2Q	42,672,963 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー報告書を受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※金額単位の変更について

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに変更しました。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、円安・株高を背景に、輸出や生産に加え設備投資にも持ち直しの動きがみられ、景気は着実に回復してきております。しかし、雇用・所得環境改善の足取りは鈍く、新興国など海外経済の先行きにも不透明感があります。

化学業界におきましては、エネルギー価格の上昇や円安による基礎原料ナフサ価格の高騰が収益を大きく圧迫しており、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、この厳しい事業環境を乗り越えるため、コア製品事業の拡販に努めますとともに、将来の成長分野である「環境」、「エネルギー」、「電子材料」、「生活資材」などの分野を中心に新規市場の開拓や新素材の開発に取り組み、原材料の安定的な確保や適正な採算確保、新コスト削減計画による総経費の削減活動などに取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績といたしましては、売上高は264億93百万円（前年同四半期比1.3%減）、営業利益は7億38百万円（前年同四半期比19.7%減）、経常利益は6億83百万円（前年同四半期比2.8%増）、四半期純利益は3億91百万円（前年同四半期比47.1%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<界面活性剤>

界面活性剤の売上高は、総じてやや低調に推移しました。

国内では、石鹼洗剤用途の活性剤は好調に推移し、金属用途の活性剤は順調に推移しましたが、ゴム・プラスチック用途の活性剤は大きく落ち込みました。

海外では、繊維用途の活性剤は好調に推移し、色材用途の活性剤は順調に推移しましたが、ゴム・プラスチック用途の活性剤はやや低調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は98億51百万円（前年同四半期比0.4%減）となりました。

営業利益は、営業経費の削減が功を奏し5億16百万円（前年同四半期比15.4%増）となりました。

<アメニティ材料>

アメニティ材料の売上高は、総じてやや低調に推移しました。

国内では、セルロース系高分子材料はトイレタリー用途や食品用途がやや低調に推移しましたが、紙パルプ用途は堅調に推移しました。シヨ糖脂肪酸エステルは食品用途がやや低調に推移しましたが、化粧品用途は堅調に推移しました。

海外では、セルロース系高分子材料は医薬品用途がやや低調に推移しましたが、食品用途は順調に推移しました。

シヨ糖脂肪酸エステルは化粧品用途が順調に推移し、食品用途は新規開発が実り伸長しました。

その結果、当事業の売上高は35億93百万円（前年同四半期比0.1%減）となりました。

営業利益は、営業経費がかさみ1億65百万円（前年同四半期比8.3%減）となりました。

<ウレタン材料>

ウレタン材料の売上高は、総じて大幅に伸長しました。

ゴム・プラスチック用途は需要回復が鈍く低調に推移しましたが、アベノミクス効果による公共工事の増加により重防食塗料用途、岩盤固結剤及び建築用材料は好調に推移しました。フロン規制に関連する環境対応型の合成潤滑油は大幅に伸長しました。

その結果、当事業の売上高は45億61百万円（前年同四半期比13.9%増）となりました。

営業利益は、原材料費の高騰や営業経費がかさみ29百万円（前年同四半期比26.8%減）となりました。

<機能材料>

機能材料の売上高は、総じてやや低迷しました。

国内では、建築材料用途の臭素系の難燃剤は新規開発が実り大幅に伸長しました。光硬化樹脂用材料は電子材料用途が需要の低迷によりやや低調に推移しました。水系ウレタン樹脂はフィルム用途が順調に推移しましたが、塗料用途や鋼板向け用途が低調に推移しました。

海外では、電気・電子材料用途のリン系の難燃剤は大幅に伸長しましたが、臭素系の難燃剤は大きく落ち込みました。光硬化樹脂用材料は、需要の低迷により電子材料用途がやや低調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は50億24百万円（前年同四半期比3.3%減）となりました。

営業利益は、価格競争の激化に加え原材料費の高騰や営業経費がかさみ35百万円（前年同四半期比82.3%減）となりました。

<電子デバイス材料>

電子デバイス材料の売上高は、総じて大きく落ち込みました。

太陽電池用途の導電性ペーストは顕著に落ち込みました。射出成形用ペレットは堅調に推移し、機能性無機材料はやや低調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は34億62百万円（前年同四半期比16.8%減）となりました。

当事業は、売上高の落ち込みが響き8百万円の営業損失（前年同四半期は53百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて31億86百万円減少し、522億30百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が9億99百万円、受取手形及び売掛金が10億23百万円、商品及び製品などのたな卸資産の合計が10億73百万円減少したことなどによるものです。

負債は前連結会計年度末と比べ35億87百万円減少し、336億28百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が9億77百万円、短期借入金が2億52百万円、リース債務（流動負債）が8億70百万円、長期借入金が9億30百万円減少したことなどによるものです。

純資産は前連結会計年度末と比べ4億1百万円増加し、186億1百万円となりました。その主な要因は、配当金の支払2億98百万円や当四半期純利益3億91百万円の計上などにより利益剰余金が92百万円、円安の影響から為替換算調整勘定が2億9百万円増加したことなどによるものです。

また、自己資本比率は、前期末と比べて2.6ポイント改善し33.7%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末と比べ9億99百万円減少し、57億72百万円となりました。

営業活動により、資金は24億39百万円増加しました。これは、仕入債務の減少10億12百万円、法人税等の支払2億25百万円などにより資金は減少しましたが、税金等調整前四半期純利益6億63百万円、減価償却費10億8百万円、売上債権の減少11億24百万円、たな卸資産の減少11億82百万円などにより資金が増加したことによるものです。

投資活動により、資金は10億43百万円減少しました。これは、投資有価証券の売却による収入2億87百万円などにより資金は増加しましたが、有形固定資産の取得13億17百万円などにより資金が減少したことによるものです。

財務活動により、資金は24億58百万円減少しました。これは、長期借入金の新規借入7億円により資金が増加しましたが、短期借入金の純減少額3億27百万円、長期借入金の返済15億90百万円、リース債務の返済9億32百万円、配当金の支払2億77百万円などにより資金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月10日付で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,782	5,782
受取手形及び売掛金	13,717	12,693
商品及び製品	6,552	5,441
仕掛品	44	40
原材料及び貯蔵品	1,752	1,793
前払費用	203	188
繰延税金資産	315	331
その他	1,305	1,052
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	30,661	27,312
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,103	8,078
機械装置及び運搬具（純額）	2,928	3,883
工具、器具及び備品（純額）	455	437
土地	6,375	6,469
リース資産（純額）	1,495	645
建設仮勘定	1,052	994
有形固定資産合計	20,411	20,509
無形固定資産		
その他	473	425
無形固定資産合計	473	425
投資その他の資産		
投資有価証券	2,978	3,104
長期貸付金	27	31
長期前払費用	293	279
繰延税金資産	224	211
その他	358	367
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	3,870	3,982
固定資産合計	24,754	24,918
資産合計	55,416	52,230

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,174	10,196
短期借入金	9,862	9,609
リース債務	1,193	323
未払法人税等	298	160
賞与引当金	484	452
環境対策引当金	1	—
未払事業所税	29	16
未払費用	253	234
その他	2,471	2,219
流動負債合計	25,770	23,213
固定負債		
長期借入金	8,849	7,919
リース債務	761	714
繰延税金負債	84	107
退職給付引当金	1,411	1,330
資産除去債務	70	71
その他	267	272
固定負債合計	11,445	10,415
負債合計	37,215	33,628
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,141	7,141
資本剰余金	5,470	5,470
利益剰余金	4,970	5,063
自己株式	△197	△197
株主資本合計	17,384	17,477
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△34	21
繰延ヘッジ損益	—	△25
為替換算調整勘定	△94	115
その他の包括利益累計額合計	△128	110
新株予約権	16	16
少数株主持分	927	996
純資産合計	18,200	18,601
負債純資産合計	55,416	52,230

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	26,848	26,493
売上原価	21,593	21,250
売上総利益	5,254	5,242
販売費及び一般管理費	4,334	4,504
営業利益	920	738
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	23	23
持分法による投資利益	27	35
為替差益	—	34
その他	28	53
営業外収益合計	80	148
営業外費用		
支払利息	143	147
為替差損	66	—
その他	125	55
営業外費用合計	335	203
経常利益	665	683
特別損失		
固定資産処分損	22	20
減損損失	133	—
特別損失合計	156	20
税金等調整前四半期純利益	509	663
法人税、住民税及び事業税	228	187
法人税等調整額	△22	39
法人税等合計	205	226
少数株主損益調整前四半期純利益	303	436
少数株主利益	37	44
四半期純利益	266	391

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	303	436
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△197	53
繰延ヘッジ損益	△0	△25
為替換算調整勘定	36	201
持分法適用会社に対する持分相当額	4	64
その他の包括利益合計	△156	293
四半期包括利益	147	730
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	95	631
少数株主に係る四半期包括利益	52	99

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	509	663
減価償却費	1,003	1,008
減損損失	133	—
のれん償却額	9	9
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3	△0
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△23	△88
受取利息及び受取配当金	△24	△25
支払利息	143	147
持分法による投資損益 (△は益)	△27	△35
固定資産処分損益 (△は益)	22	20
売上債権の増減額 (△は増加)	△355	1,124
たな卸資産の増減額 (△は増加)	700	1,182
仕入債務の増減額 (△は減少)	△287	△1,012
その他	255	△203
小計	2,061	2,791
利息及び配当金の受取額	22	25
利息の支払額	△145	△151
法人税等の支払額	△265	△225
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,673	2,439
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△850	△1,317
有形固定資産の売却による収入	0	—
投資有価証券の取得による支出	△120	△1
投資有価証券の売却による収入	—	287
貸付けによる支出	—	△5
貸付金の回収による収入	1	1
その他	△1	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△970	△1,043
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△93	△327
長期借入れによる収入	1,000	700
長期借入金の返済による支出	△1,287	△1,590
リース債務の返済による支出	△201	△932
配当金の支払額	△279	△277
少数株主への配当金の支払額	△34	△30
その他	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△897	△2,458
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13	62
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△208	△999
現金及び現金同等物の期首残高	5,470	6,772
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,262	5,772

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	界面活性剤	アメニティ材料	ウレタン材料	機能材料	電子デバイス材料	合計
売上高						
外部顧客への売上高	9,887	3,596	4,006	5,194	4,163	26,848
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,887	3,596	4,006	5,194	4,163	26,848
セグメント利益(営業利益)	447	179	40	198	53	920

(注) 報告セグメント利益の合計金額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「アメニティ材料」セグメントにおいて、セルロース系高分子製品専用製造設備のうち、老朽化が激しく将来稼働する見込みがない一部の設備について廃棄処分することを決定いたしました。これに伴い、廃棄処分が決定した設備については将来のキャッシュ・イン・フローが見込めないため、減損認識時点における帳簿価額の全額を特別損失として減損損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては133百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	界面活性剤	アメニティ材料	ウレタン材料	機能材料	電子デバイス材料	合計
売上高						
外部顧客への売上高	9,851	3,593	4,561	5,024	3,462	26,493
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,851	3,593	4,561	5,024	3,462	26,493
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失)	516	165	29	35	△8	738

(注) 報告セグメント利益又は損失の合計金額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。